

6. 文化や芸術への関心、出演者としてのホール利用経験

問6 あなたは、文化や芸術全般について、どの程度関心がありますか。			
【旧佐久市】			％
1	大いに関心がある	134	17.0
2	ある程度関心がある	404	51.2
3	どちらともいえない	128	16.2
4	あまり関心がない	97	12.3
5	全く関心がない	17	2.2
99	無回答	9	1.1
	合計	789	100.0
【臼田・浅科・望月】			％
1	大いに関心がある	100	13.2
2	ある程度関心がある	390	51.7
3	どちらともいえない	127	16.8
4	あまり関心がない	119	15.8
5	全く関心がない	13	1.7
99	無回答	6	0.8
	合計	755	100.0

問7 あなたは今まで、学生時代の部活動や課外活動、地域のサークル活動などで、 出演者として公共のホール(市外の施設も含む)を利用したことがありますか。			
【旧佐久市】			％
1	利用したことがある	304	38.5
2	利用したことはない	472	59.8
99	無回答	13	1.6
	合計	789	100.0
【臼田・浅科・望月】			％
1	利用したことがある	317	42.0
2	利用したことはない	427	56.6
99	無回答	11	1.5
	合計	755	100.0

まず問6では、文化や芸術全般に対する関心について尋ねた。両地域とも「ある程度関心がある」が半数を超えており、「大いに関心がある」と合わせると全体の6割以上が文化や芸術について関心を持っていることが分かる。投票行動との関係で見ても、関心が高い人ほど積極的に投票に参加しており、また関心が高い人ほど賛成票を投じる傾向も見られる。ただ、「大いに関心がある」と答えた人でも、賛成票を投じた人の割合は旧佐久市で4割強、旧町村部では約3割にとどまっている。実際、投票理由や自由回答などを詳細に見ても、総合文化会館については「あったら良いと思うが、現状では厳

しい」といった意見も多く見られることから、今回の住民投票では、自らの文化・芸術への関心と財政の問題とをてんびんにかけて、最終的に反対票を投じた人も少なくなかったと言えそうである。

また、出演者としてのホールの利用経験を尋ねた問7では、両地域いずれにおいても、「利用したことがある」という人が約4割に上る。ホールの利用経験と投票行動との関係では、投票参加および賛否の行動のいずれに対しても、明確な相関関係は確認できない。

7. 公共のホールを訪れた回数

問8 では逆に、あなたはコンサートや演劇、発表会などを鑑賞するために、最近5年間で平均してどの程度、公共のホールを訪れたことがありますか。佐久市内(コスモホールなど)、佐久市以外の長野県内について、それぞれ一つ選んで○を付けてください。

・佐久市内のホールを訪れた回数

		【旧佐久市】	%
1	月に2～3回程度	7	0.9
2	月に1回程度	44	5.6
3	半年に1回程度	149	18.9
4	一年に1回程度	274	34.7
5	訪れたことはない	296	37.5
99	無回答	19	2.4
	合計	789	100.0

		【臼田・浅科・望月】	%
1	月に2～3回程度	9	1.2
2	月に1回程度	44	5.8
3	半年に1回程度	153	20.3
4	一年に1回程度	284	37.6
5	訪れたことはない	253	33.5
99	無回答	12	1.6
	合計	755	100.0

・佐久市以外の長野県内のホールを訪れた回数

		【旧佐久市】	%
1	月に2～3回程度	4	0.5
2	月に1回程度	13	1.6
3	半年に1回程度	118	15.0
4	一年に1回程度	269	34.1
5	訪れたことはない	357	45.2
99	無回答	28	3.5
	合計	789	100.0

		【臼田・浅科・望月】	%
1	月に2～3回程度	6	0.8
2	月に1回程度	10	1.3
3	半年に1回程度	80	10.6
4	一年に1回程度	264	35.0
5	訪れたことはない	372	49.3
99	無回答	23	3.0
	合計	755	100.0

問8では、各回答者が佐久市内外の近隣のホールで文化や芸術に触れる機会が、どの程度あるのかを尋ねた。全体的に見ると、コンサートや演劇、発表会などを鑑賞するために頻繁にホールを訪れている人は少数派であり、半年に1回以上訪れている人を合計すると、佐久市内のホールに関しては3割に満たず、佐久市以外の長野県内のホールでは、その割合は2割以下にとどまる。

投票行動との関係に着目すると、例えば佐久市内のホールを訪れた回数とのクロスデータでは、「訪れたことはない」人では旧佐久市および旧町村部いずれにおいても、反対票を投じた人が8割を超える一方、半年に1回以上訪れている人では、旧佐久市内において4割強が賛成票を投じている（旧町村部では、賛成者の割合は2割強にとどまる。）。したがって、公共のホールに直接足を運んで文化や芸術に触れる機会を持つ人は全体として少ないが、その頻度によっても、住民投票における賛否の行動がある程度まで左右されていたと考えられる。